

日本大判寫眞家協会 会報

# image circle

イメージサークル

2022年5月号 Vol. 262 令和4年5月1日 発行

Home Page <http://lpa-japan.sakura.ne.jp/>

発行人 田中 明 編集人 高田 幸二

本 部：569-0013 大阪府高槻市野田3-6-8（田中 明方）

携帯 080-2538-9826 TEL072-676-0706

事務局：661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目23-32（高田幸二方）携帯 090-8571-6913 TEL&FAX 06-6428-2953



「鯉のぼり」 兵庫県尼崎市 庄下川にて

## 新入会員のご紹介

4月度より一人、入会されましたのでご紹介いたします。

氏名：岸本 聡さん（きしもと さとし）

所有カメラ：トヨフィールド 45A

皆様、よろしくお願ひいたします。

## 4月度研究会の報告

高田 幸二

4月16日（土）大阪写真会館で「日本大判写真展」2022の反省会が開催されました。7名の参加者がありました。

## 【反省会内容】

### 1. 入場者数

入場者数累計 1,682 名。例年より少なかったと思います。コロナ禍の影響だと思います。2021 展では 2,990 名の入場者がありました。

### 2. 作品数

自由作品 34 点、 課題作品 17 点、  
自家処理作品 3 点 合計 54 点  
(2021 展では合計 64 点でした)

### 3. 当番について

主に関西在住の会員、会友会のメンバーに当番を決めました。一般の方にも手伝っていただきました。

3月14日(月) 搬入、展示はおおむね問題なかったと思われる。

3月15日(火)～3月20日(日)  
の当番は問題なかったと思う。

3月21日(月)、9名で搬出作業を行ったが、人数が不足でした。

3月26日(土) 作品返送作業  
問題なく終了しました。

4. 全倍作品の箱に作品番号と撮影者名が書かれていなかった。例年、堀内カラーが書いてくれている。田中明会長に、マジックインクでかいていただいた。展示会終了

後に作品を返送するのに重要です。

5. 展示会終了後、撮影者自身が作品を持ち帰ることを許可していますが、所定の「作品 持ち帰り 申込用紙」に記入されていなかった。大事に至らなかったからよかったです。

6. 今年度の記名帳のチェックを実行委員にやってもらいたい。

協議の結果、田中会長がやってくれることになりました。

7. 来年度から作品返送用の送り状記入は実行委員にやってもらいたい。

8. 来年度からアンケート集計は実行委員にやっていただきたい。

9. アンケート回答の中に、撮影地をキャンペーンに書いてもらいたいとの要望がありました。しかし「日本大判写真展」2022 の作品目録に撮影地は記載されていますので問題ないと思います。

10. 本年度より B5 サイズのデータシートをなくしました。この件に関しまして異論はありません。

11. 実行委員に任命された方々は、研究会に出席しているか。遠方の方が出席してい

ない。次回、遠方の方を実行委員に選出しないほうが良いと思える。

**12.** 会員から応募要項が分かりにくいとの意見がありました。末永会員が5月の研究会までに考えておくとの返事をいただきました。

**13.** 会友メンバーに参加費 2,000 円で研究会当日、フィルム持ち込みの審査をやるかどうか。4×5 フィルムが投影できる投影機は長谷川相談役が個人で所有する投影機で行う予定です。

## 5月度の研究会案内

田中 明

- 日 令和4年5月21日(土)
- 時間 13:30~17:00
- 内容
1. 「日本大判写真展」2023  
応募要項について
  2. 永田先生について
  3. その他

## 大判カメラ体験会は中止します

岡村 浩志

先月イメージサークル4月号でお知らせしました「本年度初めての大判カメラによる日帰り体験会」の件、参加希望者がないので中止します。

## 永田先生の件

イメージサークル3月号でお知らせしました永田徹先生に顧問をお願いする件、当会の希望を協議しました。先生に来ていただくのは9月、10月、11月の作品審査。12月の六つ切プリントチェック、1月の実物大プリントチェックの合計5回です。加藤会員にこの旨、永田先生に伝えていただきました。後日、永田先生の了解を得ました。



永田徹顧問